

栃木県消防救助技術大会で優勝



佐野市消防署が栃木県消防救助技術大会の「引揚救助」「はしご登はん」の2部門で優勝しました。

「引揚救助」の部門で優勝したのは大山消防副士長、石塚・長・黒田・松村の4人の消防士、計5人のチーム。佐野市消防署のチームは昨年に続く2連覇で、7月31日に行われる消防救助技術関東地区指導会に出場します。

また「はしご登はん」の部門では、布施消防士長が優勝。布施消防士長は8月27日に行われる全国消防救助技術大会へ出場します。

さのまる。各地で佐野市をPR



毎月、市内外いろいろなところで活動しているさのまる。6月～7月は、埼玉県深谷市のキャラクターふっかちゃんの「バースティぱーちい」、埼玉県志木市で行われた舞台「ハーティーパーティ！メガパニック!!!」、静岡県浜松市での「出世大名家康くん～浜松城散策1周年記念イベント～」など2カ月で約100のイベントに参加しました。

佐野ブランドキャラクターとして、いろいろなところで佐野市をPRしています。

Town Topics まちの話題



新庁舎建設工事 の進捗状況 「免震装置を 設置しました」

平成25年10月に着工した新庁舎建設工事ですが、工事は順調に進んでいます。現在は、基礎コンクリート打設工事が終わり、地階に免震装置を設置しました。

これは「免震構造」と呼ばれるものであり、新庁舎の特徴の一つです。地震が起きた時の地面の揺れを建物に伝わりにくくするもので、これにより建物自体が守られ、その中にいる人や機器への被害を最小限に抑えます。

新庁舎は地震時にも建物の機能を維持し、防災拠点として佐野市の安全安心を守ります。

■問合せ＝新庁舎建設課 ☎(20)3058



災害への備えを
しておきましょう

現行(左)と今年度配布予定(右)のハザードマップ

佐野市の今年の6月の総雨量は市内での観測史上最も多い417.5ミリを記録しました。また、7月にも大型台風が通過するなど、多くの雨が降りました。

市民の皆さんにおかれましては、日頃から気象情報に注意し、非常食などを用意しておくとともに、ハザードマップで避難所をあらかじめ確認するなど、出来る限りの備えをお願いします。

市では必要に応じて防災行政無線で防災情報を放送したり、簡易投稿サイト「ツイッター」で注意を促すなど、防災・減災に努めています。

【防災行政無線自動音声ダイヤル】 ☎(22)2080

【ツイッター】 https://twitter.com/SanoCity_PR



天明(命) 鋳物継承活動がユネスコのプロジェクト未来遺産に！！

天明(命) 鋳物とは、佐野でつくられた鋳物を呼び、千余年の歴史があります。その歴史を守り、後継者を育成し、貴重な鋳造用具や資料を保存し、後世に伝えようとする「天明鋳物伝承保存会」の活動が評価され、天明(命) 鋳物継承活動が昨年12月にユネスコの「プロジェクト未来遺産」に登録されました。

「プロジェクト未来遺産」には百年後の子どもたちへ地域の文化・自然遺産を伝える運動が登録されており、これまでの登録は自然環境の分野がほとんどで、伝統技術の継承活動が認められたのは初めてだそうです。

保存会の代表である若林洋一さんは「鋳物づくりを体験してもらうため、7月23日から『天明鋳物入門基礎講座』が開講中です。さらに鋳造用具・資料などの永久保存と国の重要文化財指定を目指していきたい」とお話してくださいました。
(市民記者 永倉文子)



ホタル観察会

～ホタルは良好な自然環境のバロメーター～



6月28日、作原野外活動施設周辺でホタルの観察会が開催されました。観察会には子どもを連れた家族からご年配の方まで合計34人が参加しました。

はじめにホタルの生態、種類、えさの説明があり「成虫になってからは、オスが3～4日、メスが5～6日くらいしか生きられず、えさも食べない」との説明を、皆さん熱心に聞いていました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、ホタルがよく現れる午後8時頃、旗川(野上川)沿いを歩くと、ホタルが飛び交う様子を見ることができ「ホタルをこんなに近くで見られてうれしい」、「また参加したい」など、参加者は自然の大切さを感じながらとても楽しそうにホタルを観察していました。

準備をお手伝いされた「作原地区むらづくり推進協議会」の横塚奎さんのお話では「雨が降らなければもう少し多くのホタルがみられる」ということでした。

今年はもうホタルは見られませんが、また来年見るのが楽しみです。(市民記者 佐藤久夫)

「クールアースデー2014 in SANO」を開催

7月6日、佐野駅前交流広場周辺で同イベントが開催されました。これは環境省の「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に合わせて、地球温暖化防止を考え、日常からできる省エネ活動に取り組むきっかけとなるイベントとして開催されています。

会場にはソーラークッカーの展示や工作の体験コーナーなどが設けられ、多くの方がエコなイベントを楽しみました。また、会場が暗くなると、廃油で作ったエコキャンドルが点火され、ステージはキャンドルの光で幻想的な雰囲気に包まれました。

イベントの最後には、直径4メートルの球体に地球や木星などを投影するダジック・アースが行われ、会場の暗闇に大きな天体が浮かび上がりました。

これから暑くなり電力消費も大きくなります。お一人おひとりが無理のない範囲で節電に取り組み、日々の省エネを心がけましょう。

